

医療法人南労会 紀和病院季刊誌

# ウェルビー

ご自由に  
お持ちください



今日が人生で一番若い日！



第 64 号 2025 年度 秋

医療法人南労会 **紀和病院**

〒648-0085 和歌山県橋本市岸上 18-1 TEL.0736-33-5000  
E-mail: info@nanroukai.or.jp URL: <http://www.nanroukai.or.jp>



皆様、はじめまして。紀和病院循環器内科の奥野圭佑と申します。

私は、和歌山県和歌山市の出身で、幼少期は、父の仕事の都合でアメリカや和歌山県内で過ごし、小学校から高校時代までを岡山で学生生活を送りました。兵庫医科大学医学部を卒業後は、兵庫医科大学病院の循環器内科学教室に入局いたしました。以後、大学病院や関連病院にて心不全と貧血に関する臨床研究や、マウスを用いた鉄代謝と大動脈・末梢血管疾患に関する基礎研究に従事してきました。

2019年11月からは米国ペンシルバニア州フィラデルフィアにある Temple 大学にポスドクフェローとして留学する機会を得て、約3年間滞在しました。留学直後からは、COVID-19が流行してしまい、どこに行くにも‘ソーシャルディスタンス’と言われ、アメリカ国内旅行も満足にはできませんでしたが、日本の臨床生活とは全く違った、貴重な研究生活を体験させて頂きました。

2022年に帰国してからは臨床医として市中病院で勤務しておりましたが、両親や将来のことも見据えて2025年4月より橋本市に転居し、当院で総合内科医、循環器内科医として勤務させて頂いています。当院では循環器疾患だけでなく、内科疾患全般の外来診療、救急診療も担当させて頂きます。身体に関する不調や悩みは人それぞれあり、なかなか聞きづらいこともあるかと思いますが、患者さんや、そのご家族の一人ひとりの気持ちに寄り添い、分かりやすい説明と安心・納得して頂ける診療を心掛けて参りたいと思います。

私も歳を重ねて、体力的にも色んな事に挑戦することが少なくなってきてしまっていますが、医学の日進月歩に追従するだけでなく様々な事に興味を持って、新たな領域にも挑戦していきたいと思っています。



## 総合内科・循環器内科 奥野 圭佑医師

### 【資格】

- ・医学博士
- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本循環器学会循環器専門医
- ・臨床研修指導医



# あなたにとって **大切** な ことを考えてみましょう

～アドバンス・ケア・プランニングについて知ろう～

どなたでも参加できます！



講師 在宅ケア科 川邊 圭一医師  
主催 医療法人南労会紀和病院  
会場 紀和病院 4F ウェルビーホール  
問い合わせ 0736-34-1317

**参加無料**  
**申込不要**

2025年

**10/17(金)**



**Breast Awareness 2025**



★2025年度は  
マフラータオル

10月は

**ピンクリボン月間**

10月は世界中が「乳がん検診啓発」でピンク色に染まる

治療を頑張るあなたに、心からの贈りもの。

乳がんと向き合っているあなたへー

ピンクリボン月間の10月、私たちから応援の気持ちとこれからも一緒に歩む想いを込めて、主治医から診察時にマフラータオルをお贈りします。(無料)

※配布対象：患者さん



**乳がん検診が**

**あなたのいのちを守ります**

乳がんいのちプロジェクト × ピンクリボン月間

# ROOKIES

CTC

「これからは『心の支え』になりたい」



一期生  
齊藤 瑞己 Ns

新人看護師たちが入職して半年が経過しました。これまで仕事を覚えるのについていっていた気持ちに変化が生じはじめた、と齊藤 Ns が話してくれました。

部屋の受け持ちや、点滴などの処置が一人でできるようになって、だんだんと自信が持てるようになりました。「この処置お願いね」と先輩から言ってもらえる機会も増えて、とてもうれしいです。

仕事の内容を理解できるようになると、自分が「なりたい看護師」像も少しずつ見えてくるようになります。

「心の支えになる看護師」になりたいです。最初は技術を覚えることでいっぱいでしたが、今は処置をするときに少しでも患者さんとコミュニケーションをとるよう心がけています。

「なりたい看護師」像に近づくため、これからのローテーション先で学びたいことについても話してくれました。

これから配属される急性期病棟では入院の担当をする機会があるので、入院から退院までの全体の流れを理解できるようになりたいです。また病気についての理解を深めたり、急変時の対応を身に付けたりして、頼ってもらえる看護師になりたいと思っています。

「なりたい看護師」を目指して成長し続けるルーキーたちの姿にこれからも注目してください！

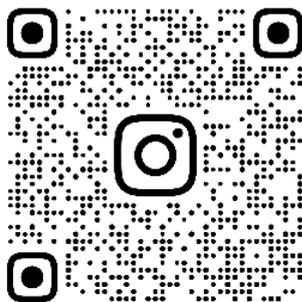


## Instagramはじめました！

Follow me /



@ 紀和病院



KIWA.HOSPITAL



✓お知らせ

✓日々の様々な出来事

ぜひチェックしてみてください！

# Reliable Nurse

「みんなの“読み取るちから”が素晴らしい」

“Reliable”という言葉には「信頼できる」という意味があります。このコラムでは病棟で働く「リライアブルナース」のひとり取材し、現場の様子やそこで働くスタッフたちの魅力についてお伝えします。



— 「障害者施設等一般病棟」とはどのような病棟ですか？

難病や障害のため長期的な医療ケアが必要な方のための病棟

— 病棟で行われる仕事にはどのようなものがありますか？

人工呼吸器の取り扱いや痰の吸引、注入食や、体をきれいに保つためのケアなどを行っています。褥瘡のケアや予防もしています。

— 仕事でとくに難しさを感じる場面はありますか？

限られた時間の中で、ご本人やご家族が望まれるケアをどのように行えるかを考えるときに難しさを感じる場合があります。看護師だけでなくリハビリテーションや栄養士など多職種での連携が欠かせません。また会話が困難な方の気持ちを知るのにも経験や技術が求められます。ケアの時などにわずかな表情の変化を見るのですが、ここのスタッフみんなの“読み取るちから”が素晴らしいと感じています。



— どんなときに看護師としてのやりがいを感じますか？

患者様の体調によってはお風呂に入れない時もあります。そんな時に工夫をして体をきれいに保てるようケアをしたときに、いい表情を見せてくださったり、ご家族の方に喜んでいただけたりとやりがいを感じます。また最期の時が近づいている場合は、体調を最優先するのではなく、ご本人やご家族と相談してケアが提供できたときにやりがいを感じます。



紀和病院 医療チーム紹介 No.9

## 研究活性化チーム

2025 年度より教育研修委員会の下部組織として「研究活性化チーム」を立ち上げ活動しております。

最大の目的は、院内外を問わず研究活動に対して円滑に進めることができるようサポートすることです。



研究活動に関して多くの職員は、苦手意識が存在し避ける傾向にあります。しかしながら、医療従事者としては研究活動も1つの責務であると言われてています。

まずは研究に触れ、そして研究プロセスを通して充実感を感じ、その上で研究活動が「楽しい」と感じていただければ何より嬉しいです。

そんな「研究活性化チーム」をどうぞよろしくお願いいたします。